

様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地番)	菊川市小沢中原134-1、134-2	地目	山林・畑	面積	7,840 m ²
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中	車両運搬・重機作業	②水質汚濁	工事用車両の走行や重機作業に伴い、濁水が発生し、周辺の水路・河川に影響を及ぼすおそれがある。		工事用車両の洗浄・待機場所を設けるとともに、降雨時は土砂を伴う作業を控えるなど配慮する。		
工事後	パネル・架台設置	④地下水変化	パネルは点支持の支柱式架台を採用し、地表面の大部分は農地として維持されるため、雨水浸透面積の減少は軽微であり、地下水涵養への影響は少ないと考えられる。		基礎はコンクリート杭等の点支持形式とし、被覆面積を最小限に抑える。設置後も農地としての土壌管理を継続する。		
工事後	営農の継続	⑧生態系変化	パネル設置後も従前と同様に農地として営農を継続するため、耕作地としての生態系は概ね維持されるものと考えられる。		適切な営農管理（施肥・防除等）を継続するとともに、周辺の生態系への影響について定期的に状況を確認する。		
工事後	パネル・架台設置	⑨景観変化	パネル・架台の設置により、周辺から見た農地の景観がやや変化する。		周辺の景観との調和に配慮した色調・配置とし、必要に応じて植栽等により景観への影響を軽減する。		

（注）1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。